



ロースバーク  
知事局  
八月二十八日  
八日三行  
カニ三行

歐洲戦舞台

赤軍猛烈に逆襲  
独乙軍撃退さる

モスカウ、P. 発電によれば赤軍一軍司令部は独乙軍撃退に功を奏したと発表したが如次

- 一 スターリンград 南門に迫つて来た独乙軍隊並にモーター軍は赤軍砲兵隊の作戦と前線中斷せしむる爲後退した。死傷多し。
- 一 モスカウ攻略を標的として過去十六日間活発化した居た独乙軍はルチエウモスカウ鉄道線路を占據し居たが之を抛棄後退す。此方面。赤軍は新任司令官スレブリノフ將軍にして其初舞

南太平洋舞台

ソモ方面休戦  
戦闘主力西へ移す

華府 A. P. 発電によれば日本艦隊はソラキ方面から撤退した。米軍司令部は左の如く簡単に報じた。

- 一 日本軍は一時的撤退した。
- 一 即ちソロモン争奪戦は臨時休戦の様相である。
- 一 又 I. N. S. 発電によれば第二面ソロモン海戦は米軍勝利に帰した旨海軍省で昨日発表したが今次の海戦はソラキ島東南がカナル方面だった。然し三ノギニアに集結した日本第三艦隊はミルネワ上陸に成功した。
- 一 モスビー基地を距る二百余哩の地点也。倫敦方面所報は聯合軍例でマクアラサール將軍指揮下に盛んに妨害空襲し本例損傷多し。

送別會一束

第十中隊食堂に於て三井吉村前原大石、遠山の諸氏帰国送別會があり。国分牧師司會し第三式は橋本滋君で隠微百出。

第十一中隊では総計三十余名の帰国者を梶さ笠井氏司會し第二式は神部氏司會し各々十八番舞が繰出した。

第九中隊では口しく食堂に於て稲野、立花、池崎、高山、青木、徳永、佐々木、山下、諸氏の送別會は早島南校便司會し宮原氏第二式司會し謝辞は高山泥草氏が代表し、極めて和やか送別會であつた。野球部第十中隊の送別會は其社交室に於て二井昇之助氏の送別會を南校に於て。

◎佐賀名人の集會。第十中隊社交室に於て佐賀名人の集りあつた。アイズホ、ワレントン、加州を併せ合計十七名が一室に會し懇談親睦の宴であつた。

発刊を祝して

砂原に大和男子の吼の聲

前野 筑波

ロースバーク インタニー  
病院現患者

熊本	坂上	喜作	三五
和歌山	仲池	辰雄	三五
福岡	中山	善四郎	六六
田山	二宮	月太郎	六〇
和歌山	市徳	清七	四六
徳島	平島	又太郎	六八
廣島	由城	勝一	五九
萩山	左野	重次郎	五六
山梨	矢崎	作平	五八
廣島	徳城	信二	六二
大分	池尻	大信	三一
能小	増永	正彦	五五
小倉	今橋	重夫	二六
福岡	八木	由太郎	六二
山形	阿部	豊次	六二
和歌山	澤崎	米藏	五三
福岡	山崎	正人	七〇
岐阜	河渡	善太郎	六一
和歌山	島本	彦一	四〇
廣島	植田	政人	四七
福岡	熊谷	健次	三九
廣島	知	英市	五九
山口	國行	愛輔	四七

聖域のそぎ

第十中隊第四寮で丹精の朝  
顔咲く。沙漠には出来ずきたし  
ほらしや、痛痛色鮮け

第十二中隊石崎運動部長は  
巨人のハイ。九た、ちものをけつ  
つて居るが、仕前だから極秘  
として置くが、中隊藤内島兵衛

君の雲形、兵石台川本静君の  
鯉の鱗、昇りなどは傑作すぎ  
ンネまわしてゐる

下手親音のやうに向でも持つ  
て来いの新任郵便局長漢流  
杉山君はレッドシスターのステッキ  
を作つて自ら次の文字を彫りつけ  
てゐる

一心欲見佛 不目借身命  
時我及衆僧 俱出靈鷲山

海の丸勇士

矢崎 天洋

砲弾に吹き飛ばされ死に身の  
つちかへ小は敵の甲板

ひとたは討死せしうたてやふ  
ひとやの定にあめがの山

方矢を小身あめがに囚け小  
とるべきかはまよとたまし

淋儿行、加州の農産業

杉山 漢流

開拓史五十年粒々辛苦日草  
分け先軍の建設の事業、天孫

民族たる農才主義の精勵に  
酬ひら小は天然と水利に恵まれ  
たる加州の農園か如何程立派に

耕やせ小豊富小生産力を有  
せしかは叙述の必要なき周知の事績  
である

端ふも曰米豆交の断絶に依り永任  
の第二枚柳たる農園から収容所に  
更に第二次奥地立退を行ひつ、あ

る同胞の姿は生産中心より影を没  
しつゝ、各地方に散在する地主  
は言小違も小市場に輸送販賣

に密接小南係を持つ米国人から  
窮状を訴へ日本農業者関係者の  
過去に於ける功績を称へ是等に

代るべき経営者不しと嘆じ涙  
の手記が綴り小である  
嗚呼苦心半世紀根底すり

覆さ小を産業奉仕は黙然と  
して五十年の昔に返るホは、咲く  
次野乎

潮田氏葬儀

去る廿五日午前四時當所病院に  
於て死したの熊本縣玉名郡の人  
潮田弥平氏葬儀は第十中隊の  
主催にて本日下午三時同中隊食  
堂に於て盛宮小倉葬者堂に溢  
るの盛葬であつた

アリソナ州へ

加州サレタアソナに立退の日本人  
は去廿六日からアリソナ州ホス  
トンへ移轉を開始の旨去日當  
局より発表

英語たより

毎月三本のクーポンを買ふ。それで  
カンティンで、紙、封筒、ソーダ水、キャン  
デー、アイスクリム、タバコその他物  
を買ふ。が、私はタバコをタントオ  
ムからそれだけ送つてほしい  
I get 35.00 coupons a month.  
with them we buy, at the can-  
teen here, such things as paper  
envelopes, soda water, candies,  
ice-cream, tobacco and other  
daily necessities. However,  
as I am a great smoker, as you  
know, send some cigarettes, to me.

第三大隊\*人名録\*

第九中隊 第二寮

- |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 福嶋縣 三上信史  | 福嶋縣 三上信史  | 福嶋縣 三上信史  | 福嶋縣 三上信史  | 福嶋縣 三上信史  |
| 大島縣 岡崎八十八 | 大島縣 岡崎八十八 | 大島縣 岡崎八十八 | 大島縣 岡崎八十八 | 大島縣 岡崎八十八 |
| 四光寺松吉     | 四光寺松吉     | 四光寺松吉     | 四光寺松吉     | 四光寺松吉     |
| 岡原久三郎     | 岡原久三郎     | 岡原久三郎     | 岡原久三郎     | 岡原久三郎     |
| 谷口四市      | 谷口四市      | 谷口四市      | 谷口四市      | 谷口四市      |
| 貴志己義      | 貴志己義      | 貴志己義      | 貴志己義      | 貴志己義      |
| 黒土善一      | 黒土善一      | 黒土善一      | 黒土善一      | 黒土善一      |
| 岡本直一      | 岡本直一      | 岡本直一      | 岡本直一      | 岡本直一      |
| 武安太郎      | 武安太郎      | 武安太郎      | 武安太郎      | 武安太郎      |
| 金市辰史      | 金市辰史      | 金市辰史      | 金市辰史      | 金市辰史      |
| 小野野運      | 小野野運      | 小野野運      | 小野野運      | 小野野運      |
| 山梨縣 山口利一  | 山梨縣 山口利一  | 山梨縣 山口利一  | 山梨縣 山口利一  | 山梨縣 山口利一  |
| 古屋定泰      | 古屋定泰      | 古屋定泰      | 古屋定泰      | 古屋定泰      |
| 若山房次郎     | 若山房次郎     | 若山房次郎     | 若山房次郎     | 若山房次郎     |
| 山本光義      | 山本光義      | 山本光義      | 山本光義      | 山本光義      |
| 横山次史      | 横山次史      | 横山次史      | 横山次史      | 横山次史      |
| 谷口嘉太郎     | 谷口嘉太郎     | 谷口嘉太郎     | 谷口嘉太郎     | 谷口嘉太郎     |
| 萩尾盛五郎     | 萩尾盛五郎     | 萩尾盛五郎     | 萩尾盛五郎     | 萩尾盛五郎     |
| 津野 實      | 津野 實      | 津野 實      | 津野 實      | 津野 實      |
| 福和三郎      | 福和三郎      | 福和三郎      | 福和三郎      | 福和三郎      |
| 玉那霸晃洋     | 玉那霸晃洋     | 玉那霸晃洋     | 玉那霸晃洋     | 玉那霸晃洋     |